

## R7 理数コース出前授業（2年生）

北野生涯教育振興会 メディアアーティスト派遣事業 講師：橋本 典久

1/19月の5～7限に橋本典久先生をお招きして出前授業を実施しました。19世紀に作成された映像装置（アノースコープ）の仕組みを解き明かすというテーマで、目の前で起きるちょっと不思議な現象の仕組みについて、仮説を立てて検証しました。生徒にとっては目の前で起きる現象が新鮮だった様子で、活発に意見交換している様子が印象的でした。3年生1学期に控えている最後の探究活動に向けて、知識を用いて思考し、考えを共有しながら考察を進めていくことの重要性を改めて実感できたのではないのでしょうか。



### 生徒の感想

私は普段から仕組みについて興味を持つようにしており、調べて解決することが多かった。しかし、今日の授業を受けて、実際に自分でいろんな角度から試してみること、手を動かすこと、話し合うことで、わからないことも多かったが思考し想像し、調べてわかること以上のことを体験することで得られたと思う。

実際にものを触り、かつ答えの見当もつかない事柄について議論する機会はこれまで一度もなく、とても貴重な経験になった。最初の時点では、なんだかんだと言っても早々に似たり寄ったりな結論に帰着し、そのあとはやる事がなくなってしまふものと考えていたが、実際は細かな疑問に対しても解釈が大いに分かれ、議論そのものの重要性を実感する機会となった。

普段の聞くだけの講話ではなく、実際に手を動かして仲間内で話し合いこうかこうかとあれこれ試行錯誤を繰り返す授業であったのでとても自分のなかで学びになった。さらに、手を動かし、自分なりに理解するという作業なので、聞いてそういうものだとし込むのではなく、聞いて実際にやってみて考えてまた手を動かすというこのサイクルが本当の理数っぽくて楽しめた。